

月報 2022年 12月31日

石城山岳会

12月号

# 四方通信

石城山岳会事務局編集

「福島百名山・新うつくしま百名山」青木山（奴田山）

真弓神社・風神山（241.9m）

古代遺跡か？小猿合（818.9m）

剣持山（582.5m）

関本富士（206m）

## 「福島百名山・新うつくしま百名山」青木山（奴田山）

2022年10月31日(月) 下山田、新谷

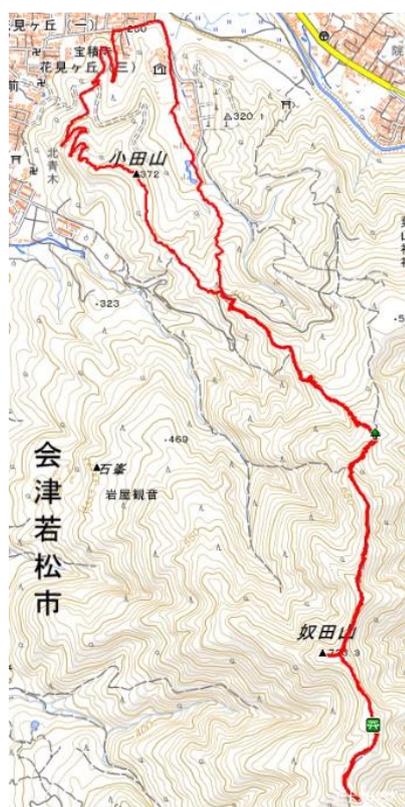
会津若松に入り白虎隊自刃の地を過ぎ東山の手前に小田山公園がある。会津藩歴代家老の碑や射撃場があったところであるが、何より驚いたのが鶴ヶ城まで2Km あるが、明治維新戦争で薩長同盟軍がお城を目掛けて大砲を放ったところだと言う。ここまでは地元の有志たちが整備し歴史公園として整備しておりトイレまである。鶴ヶ城がはっきり見えた。地元では「青木山」、国土地理院の地図には「奴田山」。ここからが本格的な登山道となるが人家が近いことから登山道はしっかり整備されている。しかし人家が近い割に「クマに注意」の立て看板が目立つし、一斗缶と棒が登山道わきにぶら下がっていた。



「今日は誰にも会わないだろうな」と思っていたが一人降りてきた。「おはようございます、早いですねー」「何処から来たんですか?」「熊は居るんですか」と話しかける。「毎日上っている。」「下の団地だから毎日のぼっている、その先で先週「しろしめじ」を100個くらいとった。」「熊はいっぱいいるよー先日はイノシシの罾に子熊がかかっていた。」「途中一斗缶がぶら下がっているから音を出していきな。」「とも教えてくれた。数えると山中に4つ下げられていた、よほど多いのだろう。



緩やかな登りをして行くと周りが刈り払われ展望が開けるところに出た。スノーバーに金棒がブラ上がっていたこれも熊よけだろう、が音は余りよろしくない。そこから200メートルほどで山頂。記念写真を撮り妙見様



の指導版がある分岐まで戻り妙見様へ、10分ほどで小さな祠があり、「ゲゲの鬼太郎の」目玉おやじのイラストが置いてあった。標識があり、ここからさらに下ると展望が開けるとあったが下る一方であきらめ戻ることとした。途中一人の登山者と会う。妙見様まで行くという、途中追い越されたが、先を行く先で一斗缶を鳴らしていった。今日あったのは二人、一斗缶のクマよけはなんと4個もあった。



上小田山から鶴ヶ城、中・下熊避け

### 【コースタイム】

小田山公園駐車場 8:31→8:58 小田山山頂→10:15 小田山子供スキー場分岐→11:42 山頂手前→11:52 山頂→12:05 妙見様（朝食）  
12:35→13:33 子供スキー場分岐→14:10 駐車場

（文責：下山田）

# 真弓神社・風神山 (241.9m)

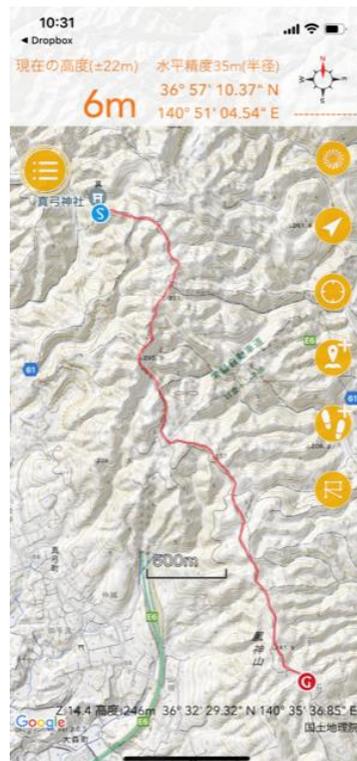
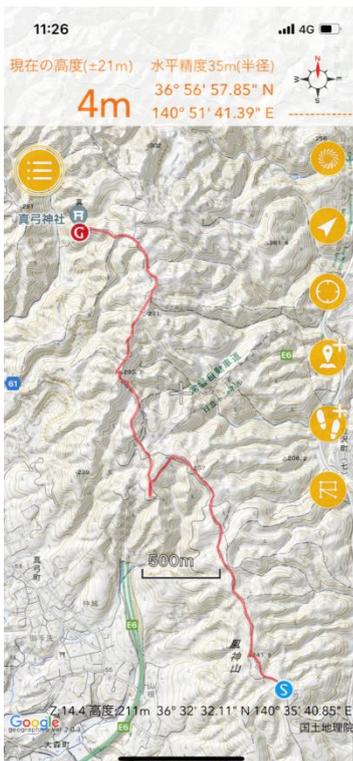
2022年11月17日(木) 秋葉、菊地(由)、吉田、赤塚(園)、芳賀(一)

かげつ斎苑湯本脇の駐車場に集合し、2台分乗し出発。いわき湯本IC・常磐自動車道路・日立南太田IC・国道6号等を経て風神山自然公園に到着。天候は、晴天で風もなく暑くもなく、絶好の山行日和。このコースは、登楽喜会山行(西真弓~真弓神社~風神山の縦走)で、真弓神社からの眺望が良かった。午前8時56分に公園を出発し、9時7分に風神山に登頂。



9時46分みはらし台に到着し、菊地さん提供のおいしいミカンで小休止。

11時10分、真弓神社に到着。秋葉さんの菊地さんへの「ムンターヒッチの固定方法」個別指導の後、昼食。



11時41分、真弓神社を発ち、12時47分、風神自然公園到着。

昼食は菊地さん紹介の鈴木食堂で大変おいしく Good。

参考：日立市水木町1丁目 10-32  
Tel.0294-52-0772

昼食後「道の駅ひたちおた」で買物を  
楽しみ帰る。

(文責：芳賀(一))

# 古代遺跡か？小猿合（818.9m）

2022年12月14日(水) 太

地理院地図で名前を見つけ、前から気になっていた川内村の小猿合に登った。

アクセスは、川内村の「高塚高原キャンプ場」へ向かう舗装道から左に入り、未舗装林道をずっと登って行くのだが、残念ながら豪雨災害で道が洗掘され、今のところ車では行くことができない。

林道に入ってすぐに車を止め、登っていく。利用が放棄されてだいぶ経つのだろう、洗掘のほかに倒木や笹藪もあり、かなり荒れている。しばらく登ると樹木が道に生えているようになり、採石場へ分岐から右に登ると、樹林の中の状態になる。枝を避けながら進むと、高く積まれた石積みが突然に現れる。まるで冒険映画の密林の古代遺跡の出現場面のような。わくわくしながら石積みに沿って進むと、マイクロバスやライトバン、軽トラックが放置された平らな場所に着く。どうやら採石時代の駐車場跡。その脇少し高い場所に「火工所」と書かれた青い波板トタンの小屋がある。発破採石に使う火薬保管庫だったらいい。そこを越えると、岩壁の下に大石が転がる場所に出る。ここが採石現場で、山頂はその上。岩壁を左に迂回して崖の一番上まで登る。目の前にはレーダーが載る大滝根山が大きく迫り、目を右に転ずると風車の建ち並ぶ桧山が望めた。なかなかの眺望である。景色を堪能した後、しばし三等三角点（点名「小猿合」818.90m）標石を探したが、見つけれず、そのまま下山した。（もしかしたら、崖の崩落で山頂の三角点標石が失われている？）

【コースタイム】

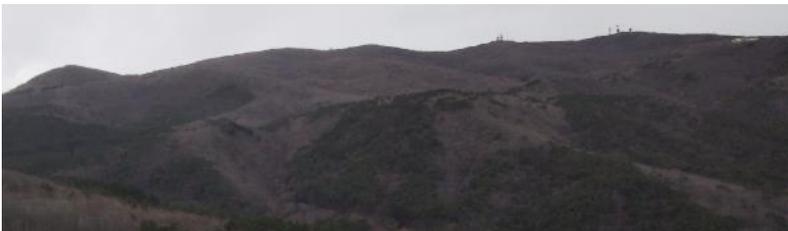
10：30 舗装路スタート地点→11：20 小猿合→12：20 林道ゴール地点



石積み



駐車場跡



大滝根山分屯基地レーダー、左に高塚山



桧山の風力発電所風車、左に尖盛



(文責：太)

# 剣持山 (582.5m)

2022年12月14日(水) 太

小猿合を下山して、もうひとつ地理院地図に名前のある川内村の山「剣持山」に登った。

登山口をネット検索したが、見つからなかったため、国道399号から最短距離で頂上を目指した。



国道路肩に駐車して、ため池のある沢の北側の尾根取りつく。尾根の上は雑木林の中、低木下草が少なく、思ったよりも簡単に歩けた。道はなくても、雑木林の下なら、藪漕ぎをせずに登れることが多々ある。地図に表れないアップダウンはあるものの順調に頂上直下まで行けた。そこからは少し傾斜が急になって上の方では笹藪が行く手を阻む。結局は藪漕ぎだが、30mほど、すぐに稜線に出て下草程度の疎らな笹に変わる。道らしきものもあるので、山林手入れのためのルートがある

のだろう。ほぼ水平に南へ数十メートル歩くと、三角点標石(三等「気毛山」582.47m)があった。いちおう頂上なのだろうが、平らな尾根に樹木もあるので見晴らしはない。

下山は、登りとは別の尾根を使い、ため池のある沢に下りた。沢に下りると、ため池の管理用道があり、荒れた道を進むと、国道沿い民家の前に出た。



## 【コースタイム】

13:00 国道399 スタート地点→13:20 剣持山→13:45 国道399 ゴール地点

(文責: 太)

# 関本富士 (206m)

2022年12月24日(土) 太

北茨城市に「富士」と名の付く山があることは知っていたが、今回登る機会を得た。

県道10号日立いわき線で峠を越え、福島県から茨城県に入ると、正面に小高い山が見える。それが関本富士である。山容は本物の富士には及びもないが、少し雰囲気があり、山の向こうには富士ヶ丘という地名まである。Google マップを見ると、登山者のピクトグラムとともに山名が表示される山で、登った方のSNS 投稿も数件見られる、少し知られた山である。

県道路肩に駐車して、民家の庭先のような場所から山林施業道で杉林に入る。麓近くを巻くように西側のコルに向かって進み、途中から小さな尾根に取り付く。杉林の斜面を登って藪を漕ぎ、稜線に出るも道らしき跡がなく、小枝を手で払いながら東へ進むと山頂。石の祠が2つあるので、かつて信心を集めた頃もあったのだろう。山名板や三角点、境界杭などはなかった。また、展望もない。

山頂の東側にピンク色のテープ見つけ、それを順に辿って下山するが、やはり道らしい感じはなく、藪漕ぎになった。植林に使ったと思われる施業道跡を見つけ、それを辿って県道に下りた。

## 【コースタイム】

11:40 県道10号→12:05 関本富士→12:30 県道10号

(文責: 太)

